発行：鹿屋体育大学　教育企画・評価室

2019.3
VOL. 5

NIFS-AP News

p.1　教員からのメッセージ
p.2　SCCOTの結果

教員から体育大生へのメッセージ

優れたコミュニケーターたれ！

スポーツ人文・応用社会科学系
国重　徹 教授

研究キーワード
英語多読・コミュニケーション・認知能力

英語を担当している国重です。みなさんに在学中に実行して欲しいことをお伝えします。それは、優れたコミュニケーターになるために必要な次の3つです。①快適ゾーンから出て、多くの人と積極的に関わり、様々なことにトライする。②意義のある内容を修得し、分かりやすく伝える。③正確な情報を見極め、それについての意見を発信する。

①については、同じ部活のメンバーだけでなく、他の学生や留学生、他大学の学生、地域の方々、教職員など、様々な人と交わり、多様性を受け入れつつ、自分のアイデンティティーを確立してください。また、実行前から「無理だ」と決めつけず、何事にもトライしましょう。

②の意義のある内容とは、例えば、スポーツ・武道に関する専門知識です。みなさんには英語力も高めて欲しいですが、英語が流暢に話せても、意義のある内容を伝達できなければ意味がありません。スポーツ・武道の専門知識を学べる今を大切にしましょう。

③を実現するためには、情報を鵜呑みにせず、その出所の信頼性を確認し、批判的に読み、考えることが必要です。その上で、世の中の事象を自分ごととして捉え、それに対する自分の意見を言語化しましょう。

みなさんがこれらを実行し、身につけるべき12の資質・能力のうち、特にコミュニケーション力、一般教養・倫理、専門的知識・教養、科学的表現力を修め、優れたコミュニケーターとして社会に羽ばたくことを願っています。

短い学生生活、どん欲に学びましょう。

スポーツ人文・応用社会科学系
和田　智仁　准教授

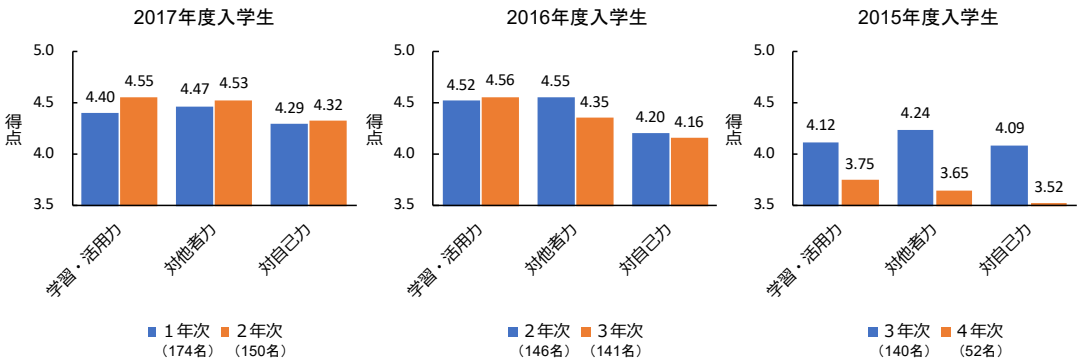
研究キーワード
マルチメディアデータベース・デジタルアーカイブ・メタデータ・動作分析・ネットワーク・分散システム・e-learning

学生の皆さん、こんにちは。スポーツ情報センターの和田です。授業では情報処理関連の科目を担当しています。

このニュースレターを発行している教育企画・評価室では、本学の卒業生を対象に大学の教育に関するアンケートを行っています。幸いこれまでの調査では卒業生の皆さんから大学の教育に対して全体的に高い評価をいただいています。ただし、『本学の教育で不足しているものは？』という質問に対しては評価が低い項目があり、その一つに『一般教養・倫理』があります。一般科目を担当している私としては耳の痛い話です。私自身を振り返っても学生時代にもっと教養を身につけておけばよかったと反省しています。ではどうすればこの状況を改善できるのでしょうか。教養科目をたくさん開講して授業を充実すればよいでしょうか。ただし、よく考えてみると教養を身につけるチャンスは授業だけというわけではなさそうです。

教養を身につけるためには「読み、書き、考える」ことが重要と言われます。特に「読む」ことについて、最近では苦手と公言する学生も多く見かけます。少しの間スマホを置いて本を読む機会を増やしてはどうでしょう。授業のレポートもしっかり「考え」て「書く」ことができていますか？「頭を使って練習しないと普通に嘘つく（意味がない）」とダルビッシュ選手も言っています。また、本学ではいろんなセミナーや特別講義が毎週のように開催されています。面白そうなものがあれば積極的に参加してみてください。4年間という短い期間ですが、学生の皆さんにはどん欲にいろんなことを学んで欲しいと願っています。

SCCOT（Sports Coaching Competency Test）の結果について



上図は、学生の皆さまに受験してもらったSCCOT（ Sports Coaching Competency Test ）の結果です。2017年度入学生は、各項目において、スコアが伸びていますが、2016年・2015年度入学生が前回よりもスコアが下がっています。

2017年度入学生のスコアが上がる原因としては、スポーツ指導実習概論やコーチ学概論等で「グッドコーチとはどのようなコーチか」を学修している成果と考えられます。

2016年・2015年度入学生のスコアが下がる原因として、次のことが考えられます。前回は理想の指導者像をイメージして、今回は指導経験（3年次にスポーツ指導実習・4年次に教育実習）をふまえて回答しており、前回と今回では、回答する際に想定する場面が異なっていることが考えられます。また、指導現場では理想と異なる判断や行動をとっていることが考えられます。

「鹿屋体育大学での4年間が充実する秘密の書」が完成!?

今回を含めて「NIFS-AP News」は、5回（Vol.5）発行してきました。

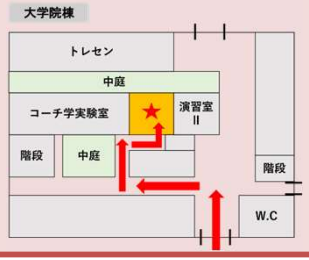
これまでの内容をふまえて、よりわかりやすく鹿屋体育大学での学びや大学生活に関する情報を「鹿屋体育大学での4年間が充実する秘密の書」として発行いたします（2019年3月末発行）。

これまでの内容を忘れた、そもそも読んでない、捨てた人も（悲しいですが・・）、改めて大学での学びについて考えることができる内容となっています。かのや仙人と勘八くんのストーリー調で読みやすくなっているので是非、読んでみてください。

＜発行＞
鹿屋体育大学　教育企画・評価室

〒891-2393　鹿児島県鹿屋市白水町1番地
大学院棟１階
TEL&FAX：0994-46-5082
E-MAIL: kyoumu-ap@nifs-k.ac.jp

＜企画・編集＞
濱中　良・近藤亮介・岡田あゆみ・金高宏文



教育企画・評価室のHPも更新されているのでご覧ください

http://ap.nifs-k.ac.jp